

02 当院の脊髄損傷患者の在宅復帰に影響をおよぼす因子の検討

病院 リハビリテーション部 再生医療リハビリテーション室 島袋尚紀

病院 リハビリテーション部 作業療法 坂爪志成、佐藤亮太

病院 リハビリテーション部 理学療法 吉田佳介、市川眞由美、清水健

病院長 仲村一郎

【背景】脊髄損傷 (Spinal Cord Injury : SCI) 患者における在宅復帰はリハビリテーションの最終目標の一つである。しかし、先行研究では、SCI 患者の在宅復帰と医学的情報との関連についての報告は散見されるものの、社会経済的情報などを含めた多面的な検討は限定的である。一方、当院では SCI 患者の在宅復帰に関する検討はこれまで行われておらず、関連因子の抽出と傾向の把握が求められていた。本研究の目的は、当院における SCI 患者の在宅復帰に関連する因子を医学的および社会経済的側面から明らかにすることである。

【方法】後ろ向きのコホートとして、カルテ記録からデータを収集した。対象は、2018年1月から2023年12月までに当院を退院した SCI 患者 326 名のうち、死亡退院および治療転院を除外した者を解析対象とした。従属変数は在宅復帰の有無とし、説明変数は以下の通りとした。医学的情報として①受傷時年齢、②性別、③受傷後経過期間 (受傷から当院入院までの期間)、④損傷高位 (頸髄損傷と胸腰髄損傷)、⑤麻痺の重症度 (AIS : A/B/C と D)、⑥入院時の BMI、⑦入院時の日常生活自立度 (FIM 運動・FIM 認知の合計点) を、社会経済的情報として⑧婚姻歴の有無、⑨教育歴 (大学卒業の有無)、⑩持ち家の有無、⑪受傷前の居住地域 (三大都市圏在住の有無)、⑫受傷前の社会保険の有無、⑬受傷前の就労の有無とした。上記の説明変数を用いて、多変量調整ロジスティック回帰分析を実施した。解析には SPSS Statistics, version 25.0 (IBM Corp., Armonk, NY, USA) を使用し、有意水準は 5% とした。

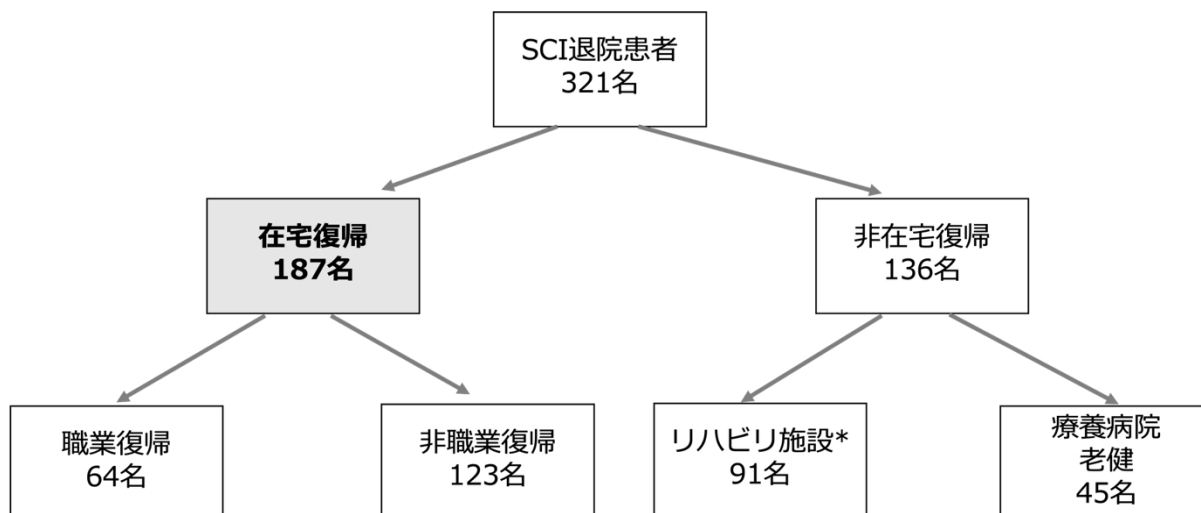
【結果】対象者 321 名中、在宅復帰者は 187 名 (58.3%) であった (図 1)。頸髄損傷者は 215 名 (67.2%) であり、受傷後経過期間の中央値は 94.5 日、入院時 BMI の中央値は 21.3 kg/m²、入院時 FIM 運動は中央値 30.5 点であった。在宅復帰に関連する因子としては、損傷高位、受傷後経過期間、入院時の BMI、入院時の FIM 運動、婚姻歴、居住地域に有意な関連が認められた (表 1)。

【考察】本研究では先行研究の報告と一致して、損傷高位、入院時の BMI、入院時の日常生活自立度、婚姻歴が在宅復帰に関連していた。一方、これらに加えて、受傷後経過期間および受傷前の居住地域が関連因子として抽出された点は新たな知見である。今後は、これらの因子を考慮したリハビリテーション計画の立案や、地域包括的な在宅支援の推進が求められる。

【倫理的配慮、説明と同意】

本研究は国立障害者リハビリテーションセンター倫理審査委員会の審査において承認を得て実施しており (承認番号 : 2025-066)、利益相反関係に該当する企業等はない。

図1 当院 SCI 患者の転帰先フローチャート



*自立支援局、回復期病院、地域包括病院など

因子	医学的 モデル	社会経済的 モデル	複合 モデル
受傷時年齢	1.05 (0.99-1.02)		0.98 (0.96-1.00)
性別	1.01 (0.51-2.01)		1.23 (0.57-2.63)
損傷高位 (胸腰椎損傷 = 1)	2.95 (1.46-5.97)*		3.10 (1.46-6.55)*
重症度 (AIS: D = 1)	2.37 (1.18-4.65)*		2.07 (0.98-4.35)
受傷経過期間	0.99 (0.99-0.99)*		0.99 (0.99-0.99)*
合併症・既往 (罹患者 = 1)	0.65 (0.35-1.21)		0.65 (0.33-1.27)
入院時BMI	0.91 (0.85-0.97)*		0.92 (0.86-0.99)*
入院時FIM運動	1.46 (1.02-1.06)*		1.05 (1.03-1.07)*
入院時FIM認知	1.02 (0.95-1.10)		0.99 (0.91-1.07)
婚姻歴 (有り = 1)		1.62 (1.01-2.60)*	3.18 (1.53-6.60)*
教育歴 (大学卒業以上 = 1)		1.29 (0.79-2.13)	1.59 (0.85-2.99)
居住地域 (三大都市圏在住 = 1)		2.55 (1.28-5.08)*	4.53 (1.73-11.81)*
受傷前の職業 (有り = 1)		0.88 (0.50-1.57)	0.89 (0.43-1.84)
受傷前の保険 (社会保険所有 = 1)		1.67 (0.97-2.87)	1.27 (0.63-2.57)
持ち家 (所有 = 1)		1.11 (0.65-1.91)	1.03 (0.51-2.08)
*P値<0.05			

表1 各モデルに応じた在宅復帰の調整オッズ比 (95%信頼区間)